

ふぉるてぴあの 曲集テキスト 1 ふぉるてぴあの ワークブック 1

学研プラス 1,540円(税込) 田丸信明著



「ぴあのどリーむ」「ピアノの森」の田丸信明先生による「はじめて」から“美しくメロディをかなでる”センスのために作られた高音部記号からはじめるピアノテキスト&ワークブックが新登場!今、この時代を生きる子ども達のために、無理なく、楽しく、右手も左手も同じように動くように、ピアノと語り合うように親しく長く記憶に残る教材です。

こどものためのピアノ小品集 森の中の小道にて

カワイ出版 2,090円(税込)

鶴崎庚一著

親しみやすい旋律で、あまり難しい奏法もなく、また単なる曲集としてではなく、それぞれの曲から音楽を学ぶ上での大事な要素を何か一つは学びとれるように考えられたピアノ小品集。こどもの発表会向けに使いやすい曲集。



【著者関連商品】

トレーニング オブ アナリーゼ
ブルクミュラー・25の練習曲編

カワイ出版 3,300円(税込) 鶴崎庚一著



Piano Lesson 88編集部：株式会社プリマ楽器

〒108-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8

TEL 03-3866-2221 (担当: 笹沼・川中)

バックナンバーをプリマ楽器ウェブサイトでご覧いただけます!

閲覧・ダウンロードはこちらから

プリマ楽器

検索

<http://www.prima-gakki.co.jp/news88/>

ピアノランドメソッドのすべて

音楽之友社 1,980円(税込) 樹原涼子著

刊行から30年を迎える今年、長く愛され続けるピアノランドメソッドの真髓に迫る待望の一冊。教える人も習う人も幸せになる音楽との関わり方や、音楽を真に楽しむには何が必要かなどを説き、シリーズ各本の内容も丁寧に紹介していきます。



【著者関連商品】

樹原涼子からあなたへ“贈る言葉”300選

音楽之友社 1,320円(税込)

樹原涼子

2010年より著者がツイッターに投稿し、反響を呼んだ「ツイッターミニレッスン」。



ONTOMO MOOK ショパン探求

付録DVD：川口成彦

ブレイエルとスタインウェイでショパンを弾く

音楽之友社 2,420円(税込)

音楽の友編

6年ぶりに『音楽の友』が発行するショパンのMOOK。2015年に刊行されたONTOMO MOOK『ショパンの本』のいわば続編で決定版。「ピアノの詩人」の魅力に深く迫る。作品および生涯の年表も充実。



【作曲家関連商品】

音楽家ものがたり ショパン (CD付)

音楽之友社 2,420円(税込) 新井おう子著

「題名のない音楽会」など数々の番組や演奏会を手がけてきた大人気の音楽構成作家による子供向け伝記。

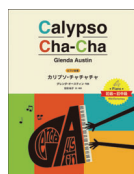
グレンダ・オースティン カリブソ・チャチャ

全音楽譜出版社

1,540円(税込)

グレンダ・オースティン著

安田裕子訳・解説



アメリカの作曲家グレンダ・オースティンによるやさしいピアノ曲集。Willis Music社(米)より刊行された2冊の曲集「Feel the Beat」、「Sizzlin' Salsa」から選曲した、ラテンの楽しいリズムが盛りだくさん。

【著者関連商品】

グレンダ・オースティン
クラッシー・ジャズ・ポケット

全音楽譜出版社
1,760円(税込)

「題名のない音楽会」など数々の番組や演奏会を手がけてきた大人気の音楽構成作家による子供向け伝記。

大人へこそ“美しい響き”で“音楽する喜び”をお届けしたい

きらきらピアノ おとなのピアノ名曲集

・クラシック レベルA/B

・ポピュラーメロディー レベルA/B

上記4点各1,320円(税込)

・映画音楽 レベルA/B

上記2点各1,430円(税込)

全音楽譜出版社

轟 千尋 著



幼少期からさまざまな響きを楽しめる、柔軟な耳と心を育みたいという思いからうまれた

『きらきらピアノ』シリーズは、おかげさまで今年10周年を迎えました。この10年間、全国各地のこどもたち、先生がたにご活用いただき、今ではコンクールの課題曲にも採用されるようになりました。一生懸命に取り組んでくれているこどもたちの演奏を聞くと、とてもうれしい気持ちになります。

そして節目である今年、かねてからのご要望にお応えするかたちで、きらきらピアノ「おとなの」ピアノ名曲集が完成いたしました。人生経験豊富で、さまざまな音楽を知る大人へこそ、“美しい響き”で“音楽する喜び”をお届けしたい一心で、音を紡ぎ、書き上げました。

■このシリーズの特徴

「こどもの」シリーズとのちがいは大きく2つ。「幅広い世代でお楽しみいただける豊富な選曲」と「全曲に解説があること」です。曲のラインアップをご覧いただいて、心奪われる作品があったら、年齢問わずどなたにでも弾いていただきたいです。生徒さんの親御さんが、我が子と一緒にこの曲集で発表会にチャレンジするのも、盛り上がるかも知れません。解説は、大人の方の独習にも、中学生のレッスンでもご活用いただけます。

■音楽の面白さに気づけるレッスンポイント付き!

全曲に対し、『効率よく演奏する方法』や『より上質な表現にするためのヒント』など、実践しやすく、“教養”アップにつながるアイデアを添えました。作曲家がどんな意図で、音の高さの違いや強弱変化を書いたのか、たったひとつの休符に込めたものは何かなど、興味深い情報が満載!そして、それを知ると演奏がどう変わるのか、どの教科書にも書かれていない音楽の奥深さやおもしろさについて、弾く人も教える人もこの本ではじめてお気づきいただけるかもしれません。

■アレンジに託したもの

大人にとって、手に負担なく簡単に弾けるということはもちろん大切です。美しい響きにするためには、音の使い方に工夫が必要なので、そのぶん難易度はあがります。それでも、さまざまな音楽に触れてきた大人にこそ、私は厳選した音で“美しい響き”をお届けしたいと考えています。「美しいもの」「おもしろいもの」「はじめて知ること」との出会いは、気分を高め、上達へと導いてくれるものです。大人にこそ、より「上質」なものが似合うはずだと思います。

この曲集で、ピアノを奏でる「ご自身」に感動できる、“喜びのひとつ”が作れたらと、切に願っています。

轟 千尋 プロフィール



作曲家。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程修了。一流演奏家やプロオーケストラに作品を多数演奏されている。近作に『星降る町の小さな風景』(全音楽譜出版社)、『音楽物語 わたし、ピアノすきかも』(音楽之友社)など。

「ピアノレッスン88」の読者の皆様こんにちは！ピアノのレッスンや練習はいかがでしょうか？先月まではベートーヴェン先生が使用したピアノについて解説しました。今月からは、ベートーヴェン先生の後を繋いでいった作曲家でピアニストだった人たちについて言及したいと思います。 岳本恭治

ベートーヴェン先生は1770年に生まれ1827年に亡くなっていますが、18世紀の最後の約20年間（およそ1780年から1800年頃〈月光ソナタ・1801年〉）に古典派とロマン派を繋ぐ作曲家で重要なピアニストが誕生しています。

- ① ヨハン・ネポムーク・フンメル (1778年-1837年)
- ② ジョン・フィールド (1782年-1837年)
- ③ フリードリッヒ・カルクブレンナー (1785年-1849年)
- ④ カール・マリア・フォン・ウェーバー (1786年-1826年)
- ⑤ カール・チェルニー (1791年-1857年)
- ⑥ イグナーツ・モシェレス (1794年-1870年)

1. これらの作曲家でピアニストだった人たちに詳しいのは後ほど解説させていただきますが、中には生まれたころはまだ馬車が走っていたのに、晩年には産業革命により蒸気機関車が登場し世の中がまったく変わってしまった時代に活躍した人もいます。ピアノ音楽史的には、後期古典派から初期ロマン派に属し、楽器もウィーン式であってもイギリス式であっても、ロマン派の後半の現代のピアノに近い楽器とはかなり鳴り方が異なる繊細な楽器が使われていました。その楽器は大掛かりな動きは必要とせず、クレメンティやクラマーに代表される「指を中心とした無駄のない少ない動き」で演奏されていました。とくにクレメンティは、「手のひらは動かさず指の動きだけで弾く」ように言っています。一方フンメルは、それまで黒鍵にあまり使われなかった親指が黒鍵を弾きやすいポジションを提唱し、カルクブレンナーは、オクターブを弾くときは手首を柔軟にするように言いましたが、モシェレスは手首を硬くすることを推奨しています。さらにカルクブレン

ナーは、ピアノの前に座るときには右寄りに、デュセック（ソナチネ・アルバム第1巻第17番を作曲）は左寄りにと指導しているように、様々な奏法が入り乱れ、現代まで論争は続いています。



岳本 恭治
(日本J.N.フンメル協会会長)

2. 楽器としてのピアノにも大きな変化がありました。ベートーヴェン先生が使用したブロードウッド社（226号参照）は、蒸気機関と技術の進歩により年間20台だったのが1802年には400台、さらに1825年には1500台も製造できるようになりました。またピアノのピッチはモーツァルトの時代はAの音が約412ヘルツだったのが、この時代には435ヘルツまで高くなっています。これは、ピアノのフレームが強固になり強い弦の張力に堪えることができるようになったからです。なお、モーツァルト時代のピッチは、現代のピアノのAが平均440～442ヘルツとするとほぼ半音低いGisということになります。この後、エラール社（224号参照）が1821年にグランドピアノに採用されている鍵盤を打鍵した後に完全に元に戻らずに次の打鍵ができる「ダブル・エスケープメント・アクション」の特許を申請しました。一方1825年に現代のピアノに採用されている鉄骨のフレームが開発されました。

ここで紙面が尽きてしまいました。来月号に続けます。お楽しみに！

岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得。演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノ大全」、「江戸でピアノを」及び楽譜「フンメル作品集」「フンメル60の練習曲集」「リスト・3つのカンパネッラ」等多数。現在、日本J.N.フンメル協会会長、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、国立音楽院講師、全日本ピアノ指導者協会（PTNA）正会員。岳本先生ホームページ：http://hummel1778.com/

暑かった夏が嘘のように…世の中すっかり秋…過ごしやすい季節になりました。読書の秋…食欲の秋…そして芸術の秋です(*^_^*)コロナも少し落ち着く兆しが見えてきて、音楽会の開催や発表会の計画など、具体的に動きだし、私たちピアノ教師にとっては忙しい秋になりそうです。(^^)

そこで芸術の秋にふさわしく[脳を鍛えるテクニック]の紹介です。ここ何年マスコミでも話題になっている[ピアノは頭の良い子を育てる！]この情報に、教育熱心な世の母は「わが子には絶対ピアノ教室に通わせたい！」…と、意識を持ってやってくる親子もいて、ピアノ教師にとっては嬉しい限りです。(^^)そこで、今日の話になるわけです。

なぜ頭に良いのか…それはピアノを弾く中で、行われる一連の流れにあります。「目（楽譜を見る）」⇒「脳（楽譜を理解し指などに指令を送る）」⇒「指（指令どおり動かす）」⇒「耳（弾いた音を耳で聴きながら次の楽譜を見る。）」～この一連の流れを瞬時に繰り返します。これが[脳]にかなり良い刺激となり発達するということなのです。

今回で紹介する「脳を鍛えるテクニック」は[GO!フィンガーズ][五指のテクニック1&2]（全音楽譜出版）です。この本は、[目～脳～指～耳]がスムーズに流れることを第一に考えつくりました。まさに上記の脳の話と一致しています。実は…この本が出版されたのは『ピアノは脳に良い！』が一般に認識されるずっと以前でした。

最大の特徴は、『楽譜とリズムがない！』という大胆な発想です。読譜を伴った練習は、特に初心者にとっては負担です。しかも1曲が4音で弾けるので、生徒は負担なく取り組みます。数字と2本線のユニークな楽譜に・・・「今まで見たこともない！これは楽譜？」と発売当初は、かなり驚かれましたが、今では、その効果に「こんなに良い本が！」と違った驚きをされています。これら3冊のテクニックを進めることで、「初見力・各指の独立と左右の手の分離を強化できます」さらに、これにプラス[脳]にも良い！！

ただ残念に思うことがあります。それは、ピアノ教師の多くが、この一連のテクニックを、自身が経験されていないことです。そのため、店頭でこの本に出合っても、使い方などが分からず、不安を持たれるのは当然です。10/20（水）カワイ表参道にてこれら一連のテクニック講座を開催します。内容・効果・使い方などについても詳しくお話します。また、このようなコロナ禍でもありますので、[録画受講]ができます。つまり地域・日時に関係なく、どなたでも受講できるのです。本当に便利な時代になりましたね。(^^)ご興味がありましたらぜひご参加お待ちしております。ピアノを弾いて脳力もアップできる『テクニック』最高～(^^)/



【岩瀬洋子によるピアノ導入指導講座】

2021年度カワイ表参道コンサートサロンパウゼにて開催中！全て録画受講もできます！！（各2時間）録画受講ご希望の方はVol.1から申し込み頂けます。

- ① 4/21 《未来につながる教室作り…さあ勇気を持ってチャレンジ！》
- ② 6/2 《譜読みの前に…教師が見落としがち…実は大きな落とし穴が！》
- ③ 7/7（水）《譜読み完成のカギは？》
- ④ 9/15（水）10:30～《リズム感…拍子感？何となく演奏している生徒…います！》
- ⑤ 10/20（水）10:30～《忙しい生徒こそテクニック！初見力・演奏力…さらに学力もアップ?!》
- ⑥ 11/24（水）10:30～《指導力UPで生徒のやる気がUP！もちろんレッスンも楽しさUP！》
- ⑦ 1/12（水）10:30～《全く発想を変え、教室全体のレベルアップ！気づいたら生徒が増えた！》

【田村智子 2021年度ライブ及び動画講座】

F Bまたは♪ミュージックにお問合せください。
♪ミュージック-お問合せはmusickey@musickey-piano.com